



民需系ソリューションサービス特集 に寄せて

株式会社富士通システムソリューションズ

代表取締役社長

杉本 隆治

近年の競争激化の中、お客様企業においては、事業の選択と集中や構造改革、内需の低成長化に備えたグローバル進出の加速など、そのビジネス環境は非常に早いスピードで変化しています。ICT業界においても、汎用機からオープン・クライアントサーバ、インターネットに続き、第4の波としてクラウドテクノロジーが急速に発展し、開発スタイルや運用スタイルが大きく変化しています。それに伴い、お客様のニーズは、より早く、より安く、より手間をかけない新しい形態のシステムインテグレーション（SI）へとシフトしています。

富士通システムソリューションズ（Fsol）はそうした新しい時代の中で、富士通グループ共通の企業理念である「常に変革に挑戦し続ける」ことを意識し、常に変化を先取りしたソリューション開発に取り組んできました。富士通グループ最大規模のソリューションSI企業であるFsolは、主力商品の「統合ソリューションサービスWebSERVE（ウェブサーブ）」「コンサルティングサービスsmart SCOPE（スマートスコープ）」「アプリケーション運用サービスAplSERVE（アプリサーブ）」の拡充を中心に、クラウドソリューションの充実とグローバルビジネス体制の強化を推し進めています。また、富士通グループで統一された生産技術基盤であるアプリケーションフレームワーク「INTARFRM（インターファーム）」の活用により、より早く効率的にシステムを構築し、お客様のソフトウェアや資産を継続的に発展させ、お客様企業のビジネスの進化をご支援し続けています。

本特集号では、Fsolの豊富な業務ノウハウ、システム構築経験を生かした先進ソリューション・事例を中心に、富士通グループの民需系ソリューションへの取組みを紹介しております。

是非ご一読いただき、Fsolをお客様の経営パートナーとして、末永くご愛顧いただきたくよろしくお願い申し上げます。